

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

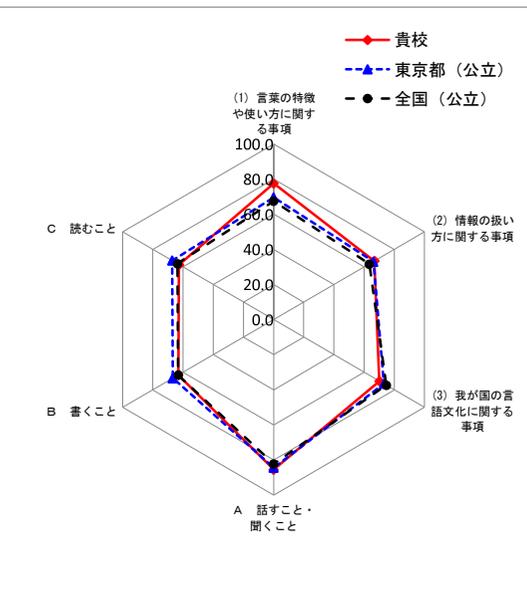
集計結果

対象生徒数	江戸川区立小岩第四中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	107	71,460	892,738

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）	
全体			71	72	69.8	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	77.6	69.6	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	66.8	66.2	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	70.1	73.1	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	85.4	84.4	82.2
		B 書くこと	2	63.1	66.8	63.2
		C 読むこと	4	62.6	67.2	63.7
評価の観点	知識・技能	7	71.3	70.1	69.4	
	思考・判断・表現	9	70.3	72.9	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	7	76.2	75.9	73.1	
	短答式	4	69.2	65.6	65.6	
	記述式	4	64.7	70.8	68.0	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



結果分析・課題

- ①知識・技能：全国・東京都と比べて高い傾向にある。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」では平均を大きく上回っている。授業では毎回ワークシートに取り組みせ、班員同士で学びあう活動をしていることが有効だったと考えられる。課題は古文の問題の正答率が芳しくなかったことである。
- ②思考・判断・表現：知識・技能に比べると全国より高い傾向にあるが、都より低い結果になっている。「書くこと」「読むこと」に苦手傾向があり、特に記述する問題では都と比較して6.1点、全国では3.3点下回っている。

授業改善のポイント

- ①教科書以外の古文問題に取り組みせ、古文に慣れること、古文の知識を増やすことに取り組んでいく。また、言語の知識を増やすために、意味の分からない言葉は積極的に調べさせる。
- ②授業では読み取りと記述に時間をかけて取り組みせているが、丁寧に文章を読ませ、根拠をもとに考える力をより高めていく。
- ③記述では、文章で考えをまとめる力、伝える力を高められるように、文字数を限定して書かせる練習をさせていく。
- ④今後初見の問題を解く練習を都立模擬試験問題で行い、慣れさせていく。